

高浜発電所及び大飯発電所
環境影響監視結果

(平成27年度)

京 都 府

目 次

はじめに	1
環境影響監視結果の概要	2
調 査 結 果	
1 調査の概要	5
(1) 調査内容	5
(2) 調査実施機関	6
(3) 調査期間	6
2 環境放射線監視調査結果	19
(1) 空間放射線空気吸収線量率等	19
(2) 気象観測	20
(3) 環境試料の核種分析	21
3 温排水影響調査結果	60
分布調査	60
参 考 資 料	
1 全国の自然放射線量	71
2 原子力発電所運転・建設等状況	72
3 高浜発電所運転状況	76
4 高浜発電所放射性廃棄物放出実績	80
5 高浜発電所及び大飯発電所に関する環境測定技術検討委員会要綱	84
6 調査の目的	87
7 測定結果の評価について	89
8 用語の説明	90

は じ め に

京都府では、府民の健康と安全を守るため、府域に隣接して立地する関西電力株式会社高浜発電所及び大飯発電所の周辺環境への影響について監視を実施しています。

高浜発電所1号機の運転開始に先立つ昭和48年度からの監視開始以降、環境放射線テレメータシステムの整備・拡充や環境試料の調査項目の追加等、監視体制の充実強化を図ってまいりましたが、平成23年3月に発生した福島第1原子力発電所の事故を契機として、大飯発電所による周辺環境への影響についても監視しております。

これらの監視の実施等に当たっては、高浜発電所及び大飯発電所に関する環境測定技術検討委員会（放射線に関する有識者等の意見を聴取する会議。）を設置し、平成27年度の監視結果について、「周辺環境に対する影響は認められず、環境安全上問題はなかった。」との意見をいただいております。

本書は、平成27年度の監視結果について、府民の皆様の参考にしていただくため公表するものです。

平成28年12月

京都府環境部長 山口寛士

環境影響監視結果の概要

平成27年度に実施した高浜原子力発電所及び大飯原子力発電所周辺の環境影響監視結果の概要は次のとおりでした。

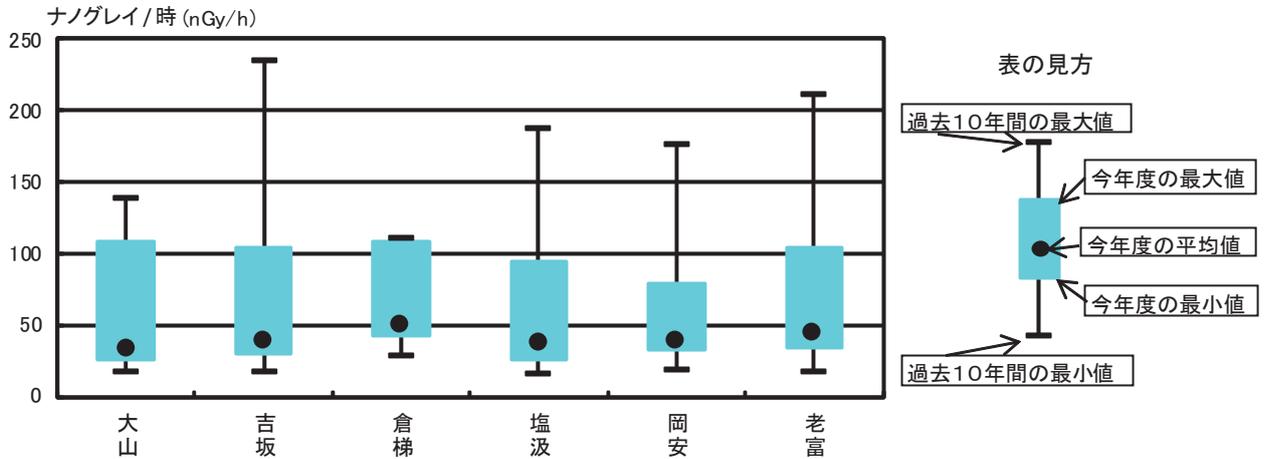
1. 環境放射線監視結果

☆空間線量モニタリングについて

空間放射線量率

放射線測定所(15か所:舞鶴市内6か所、綾部市内3か所、伊根町内1か所、宮津市内1か所、南丹市内2か所、京丹波町内1か所、京都市内1か所)において、空間放射線が1時間あたりどのくらいであるかを測定しています。

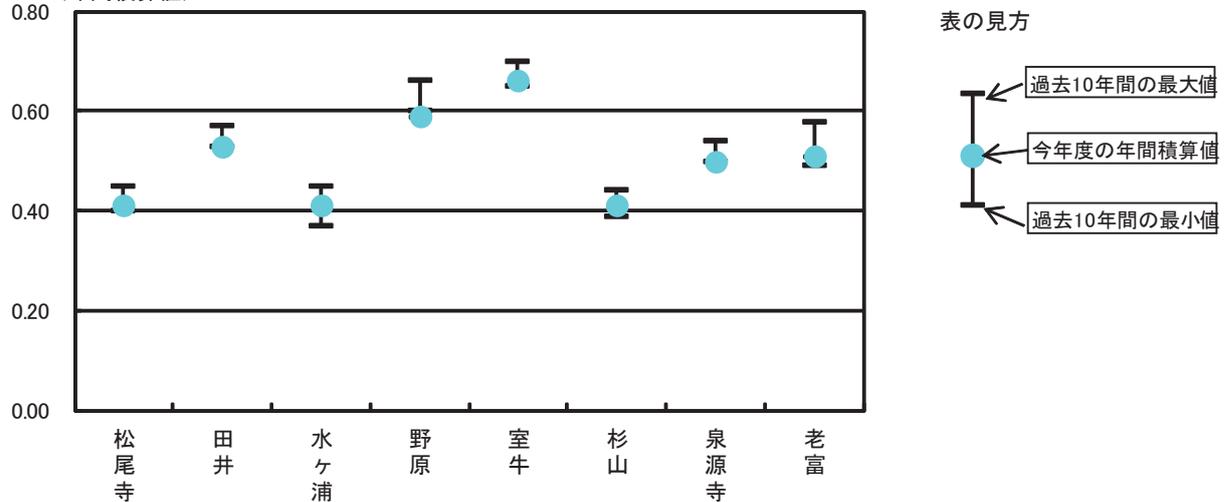
各地点の測定結果は、すべて異常は認められず、安全上問題ありませんでした。なお、代表的な地点について測定結果をグラフに示しました。



積算線量

モニタリングポイント(26か所)において、空間放射線が3か月間(92日)でどのくらいになるかを測定しました。各地点の測定結果は、概ね過去の値の変動範囲内にあり、安全上問題ありませんでした。なお、代表的な地点について測定結果をグラフに示しました。

ミリグレイ(mGy)
(年間積算値)



☆陸上、海洋モニタリングについて

核種分析

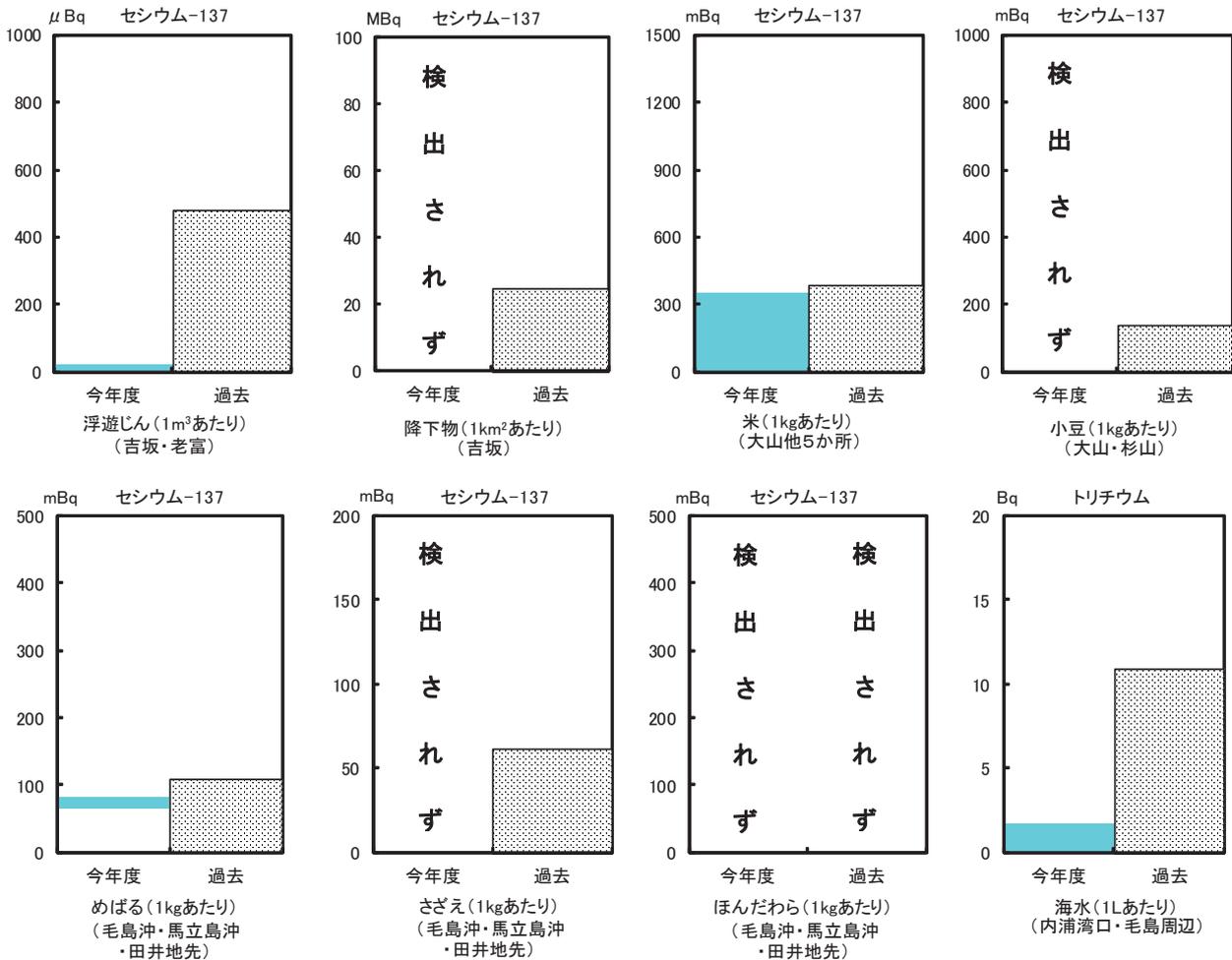
私たちが口にする農作物、海産物や牛乳、また、雨や河川水、浮遊じんなどの放射能や含まれる核種について測定を行っています。

過去から検出されているCs-137が検出されました。河川水は過去10年間の最大値を上回りましたが過去に検出された値に近いレベルでした。その他の試料については過去10年間の範囲内、陸土からは過去10年間の範囲を下回る値が検出されました。

また、浮遊じん及び生椎茸で福島第一原発事故の影響によるものと考えられる半減期の短いCs-134が検出されましたが、過去の検出値と比べて小さい値でした。

なお、トリチウムは自然界にも存在する放射性核種です。

代表的なものについてグラフに示しました。



※過去の値は過去10年間の濃度範囲

2. 温排水影響監視結果

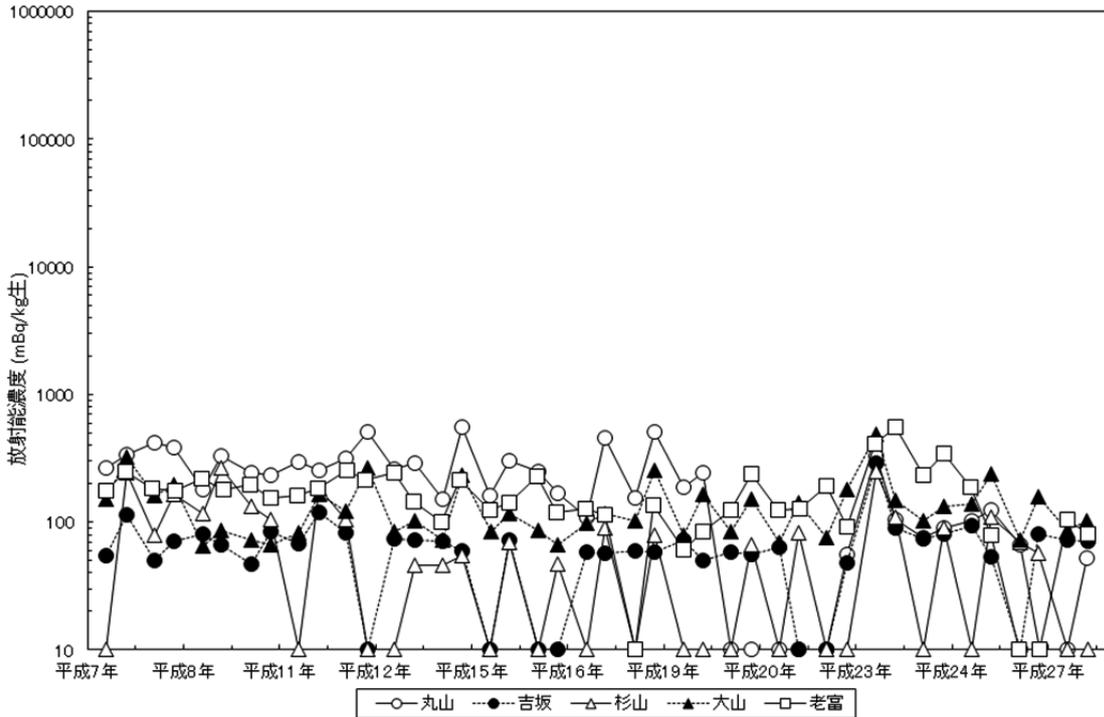
高浜発電所からの温排水の拡散状況を調査しています。

毛島周辺から馬立島周辺に至る25定点における水温、塩分等の分布調査を年6回行った結果、環境安全上問題はありませんでした。

(核種分析の経年変化)

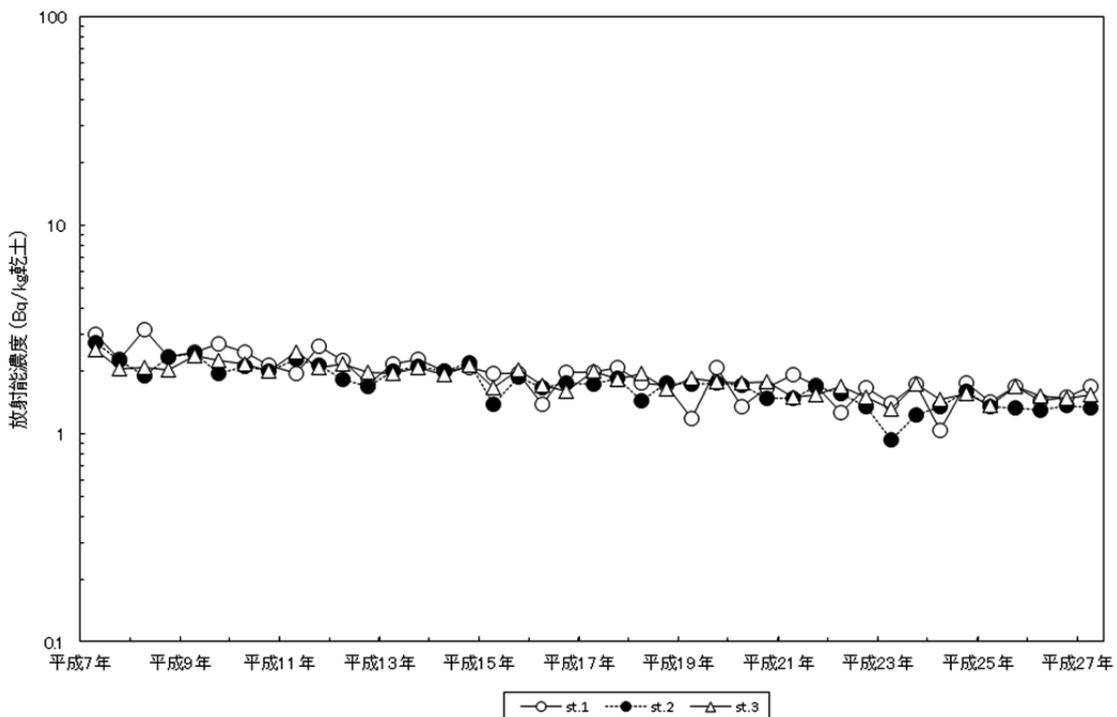
過去の核実験等で放出されたセシウム-137などの人工放射性物質の濃度は、近年、その半減期に従って徐々に衰退しています。

代表的なものについてグラフに示しました。



(注)グラフ作成の便宜上、測定結果が非検出であった場合、値を「10」としてプロットした。

よもぎ中のセシウム-137濃度の経年変化



海底沈積物中のセシウム-137濃度の経年変化

調 査 結 果

1 調査の概要

(1) 調査内容

関西電力株式会社高浜発電所及び関西電力株式会社大飯発電所（以下、「高浜発電所」及び「大飯発電所」という。）の環境への影響を把握するため、両発電所周辺における環境放射線監視及び温排水影響の各調査を行った。

（表 1 - 1、表 1 - 2、図 1 - 1、図 1 - 2 参照）

環境放射線監視調査のうち空間放射線空気吸収線量率については、舞鶴市、綾部市、南丹市、宮津市、京丹波町、伊根町及び京都市内の15か所の放射線測定所において気象観測とともに連続測定を実施し、環境放射能測定車による定点測定（3地点）並びに環境放射線調査車による走行サーベイ（9ルート）を四半期ごとに実施した。

空間放射線積算線量については、舞鶴市内25か所及び綾部市内1か所のモニタリングポイントにおいて四半期ごとに測定した。

また、環境試料については、高浜発電所から約10km以内の定点において、浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能の分析、ガンマ線放出核種及びラドン子孫核種の分析並びに空气中湿分の分析のほか、降下物（雨水・ちり）、陸水、陸土、農畜産物、海水、海底沈積物、海洋生物及び指標生物についての核種分析を行った。

これらの調査のうち空間放射線空気吸収線量率及び浮遊じんに関する調査は、比較的短期間における放射線の変動を監視するためのものであり、空間放射線積算線量の調査は、環境放射線量の長期的変動を把握するためのものである。また、環境試料のうち農畜産物、海洋生物等の調査は、環境中の放射能濃度レベルを把握するためのものであり、空間放射線空気吸収線量の測定結果とともに、この結果を用いて放射線による被ばくの状態を評価することができる。

陸土、海底沈積物及び指標生物の測定については、発電所由来の核種の蓄積状況や長期的な環境影響を把握するために継続的に実施しているものである。

一方、温排水影響調査は、高浜発電所からの温排水の拡散状況を調査するもので、毛島周辺から馬立島周辺に至る25定点において海面下0から20mまでの8層の水温、塩分等の分布調査を行った。

(2) 調査実施機関

環境部環境管理課

南丹保健所

中丹西保健所

中丹東保健所

丹後保健所

保健環境研究所

農林水産部水産課

農林水産技術センター海洋センター

(3) 調査期間

平成27年4月～平成28年3月

表 1 - 1 環境放射線監視調査の概要

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
空間線量モニタリング	空間放射線空気吸収線量率	放射線測定所 15地点 ①大山測定所 (舞鶴市大山中田241の3) ②吉坂測定所 (舞鶴市松尾水戸白8の1) ③倉梯測定所 (舞鶴市行永7) ④塩汲測定所 (舞鶴市笹部前田115) ⑤岡安測定所 (舞鶴市岡安馬々23の1) ⑥老富測定所 (綾部市老富町遊里の下11の1) ⑦日出測定所 (伊根町字日出651) ⑧上司測定所 (宮津市字上司1567の1) ⑨地頭測定所 (舞鶴市字地頭523の2) ⑩上杉測定所 (綾部市上杉町日後30) ⑪八津合測定所 (綾部市八津合町縄手1) ⑫盛郷測定所 (南丹市美山町盛郷上田36の3) ⑬島測定所 (南丹市美山町島往古瀬15の1) ⑭本庄測定所 (京丹波町本庄庄垣21) ⑮伏見 I 測定所 (京都市伏見区村上町395)	連続	平成27年 4月 平成28年 3月	測定器：① 屋外固定式3" φ × 3" エネルギー補償型 NaI(Tl) シンチレーション測定装置 ② 屋外固定式電離箱型 (14 l) 測定装置 測定高：地上約3.7m 校正線源：Cs - 137

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
空間線量モニタリング	空間放射線空気吸収線量率	環境放射能測定車による定点測定 ①河辺原地区 (舞鶴市河辺原、河辺原公民館) ②三浜地区 (舞鶴市三浜、丸山小学校跡地) ③多門院地区 (舞鶴市多門院)	4回/年	平成27年 5月 9月 12月 平成28年 3月	測定器：車上固定又は移動式 3"φ球形エネルギー補償型 NaI(Tl)シンチレーション測定装置 測定高：地上2.9m(固定時) 校正線源：Cs-137
		環境放射線調査車による走行サーベイ ①東舞鶴地域 ルート1 ②東舞鶴地域 ルート2 ③綾部老富地区 ルート3 ④綾部・西舞鶴地域 ルート4 ⑤福知山市区 ルート5 ⑥伊根・橋北地区 ルート6 ⑦宮津・栗田・由良地区 ルート7 ⑧京丹波町地域 ルート8 ⑨南丹市美山町地域 ルート9	4回/年	平成27年 5月 9月 12月 平成28年 3月	測定器：車上固定式2"φ×2"エネルギー補償型 NaI(Tl)シンチレーション測定装置 測定高：地上2.2m(固定時) 校正線源：Cs-137
グ	空間放射線積算線量	モニタリングポイント26地点 ①大山(測定所) (舞鶴市大山中田241の3) ②松尾寺 (舞鶴市松尾532) ③吉坂(測定所) (舞鶴市松尾水戸白8の1) ④田井(小学校跡地) (舞鶴市田井97の2) ⑤河辺(グラウンド) (舞鶴市河辺由里284の3) ⑥朝来(小学校) (舞鶴市朝来中245の1) ⑦金剛院 (舞鶴市鹿原575) ⑧丸山(小学校跡地) (舞鶴市三浜676の1)	4回/年	平成27年 4～6月 7～9月 10～12月 平成28年 1～3月	測定器：熱蛍光線量計(TLD) TLD素子：CaSO ₄ ・Tm 測定高：地上1.5m 暴露期間：3か月 設置方法：木製箱に3本(6素子)収納

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
空間線量モニタリング	空間放射線積算線量	⑨大浦（小学校） （舞鶴市平1583） ⑩老富（集会所） （綾部市老富町ヒシリ6-1） ⑪倉梯（測定所） （舞鶴市行永7） ⑫夕潮台（公園） （舞鶴市浜2006の80） ⑬城北（中学校） （舞鶴市南田辺128） ⑭水ヶ浦（駐車場） （舞鶴市水ヶ浦） ⑮野原（若宮神社） （舞鶴市野原北山45） ⑯塩汲（測定所） （舞鶴市笹部前田115） ⑰栃尾（記念碑） （舞鶴市栃尾37） ⑱室牛（公民館） （舞鶴市室牛） ⑲杉山（集会所） （舞鶴市杉山430） ⑳登尾（バス停） （舞鶴市登尾406） ㉑白屋（公民館） （舞鶴市白屋町7） ㉒志楽（幼稚園） （舞鶴市田中453） ㉓泉源寺（智性院） （舞鶴市泉源寺） ㉔大波下（東舞鶴病院） （舞鶴市大波下村上1026） ㉕堂奥（公民館） （舞鶴市堂奥旭2368-1） ㉖多門院（バス車庫） （舞鶴市多門院）			

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法	
陸上モニタリング	浮遊じん	全アルファ放射能 全ベータ放射能	吉坂測定所 塩浜測定所 老富測定所	連続	平成27年 4月 ～ 平成28年 3月	○全アルファ放射能 集じん方法：ろ紙（セルロースガラス繊維ろ紙）ステップ式集じん装置を用いて、6時間連続集じん 測定器：50mmφ ZnS (Ag) + プラスチックシンチレーション検出器 試料採取高：地上2.0m 吸引空気量：250ℓ/分 ○全ベータ放射能 全アルファ放射能に同じ	
		ガンマ線放出核種	吉坂測定所 老富測定所	12回/年	平成27年 4月 ～ 平成28年 3月	○ガンマ線放出核種 試料の前処理：1か月連続集じんしたろ紙を電気炉で灰化 測定器：Ge半導体検出器・多重波高分析装置	
		ラドン子孫核種	倉梯測定所*1	連続	平成27年 4月 ～ 平成28年 3月	○ラドン子孫核種 集じん方法：ろ紙（メンブランろ紙）ステップ式集じん装置を用いて、10分間連続集じん 測定器：半導体検出器 試料採取高：地上1.2m 吸引空気量：80ℓ/分 校正線源：Am-241	
		空气中湿分	トリチウム	大山測定所	4回/年	平成27年 5、9、12月 平成28年 3月	○トリチウム 試料の前処理：約2週間採取後蒸留して100mlに調整 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置
		ガス状ヨウ素	ガンマ線放出核種	吉坂測定所	4回/年	平成27年 5、9、12月 平成28年 3月	○ガンマ線放出核種 試料の前処理：採取試料に応じて前処理 測定器：Ge半導体検出器・多重波高分析装置
		降下物 (雨水・ちり)	ガンマ線放出核種	吉坂測定所*2	12回/年	平成27年 4月 ～ 平成28年 3月	

(注)*1：対照地点として、伏見I測定所においても、浮遊じんを採取し、ラドン子孫核種測定を実施
*2：対照地点として、伏見I測定所においても、降下物（雨水・ちり）を採取して測定を実施

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法		
陸上モタリ農畜産物	水	ガンマ線放出核種 トリチウム	与保呂水源地 朝来川	2回/年	平成27年 5、11月	○トリチウム 試料の前処理：蒸留して100 mlに調整 測定器：低バックグラウンド 液体シンチレーショ ン計数装置 ○プルトニウム 試料の前処理：採取試料に応 じて前処理 測定器：アルファ線スペクト ロメータ ○ストロンチウム-90 試料の前処理：灰試料からス トロンチウム-90を 分離後試料皿に固定 測定器：低バックグラウンド 放射能自動測定装置 比較試料：Sr-90+Y-90 ○ガンマ線放出核種 試料の前処理：採取試料に応 じて前処理 測定器：Ge半導体検出器・ 多重波高分析装置		
			上林川	1回/年	平成27年 5月			
		ストロンチウム -90	朝来川	1回/年	平成27年 5月			
	土	ガンマ線放出核種	大山地区 吉坂地区 杉山地区 岡安地区 丸山地区 金剛院地区 老富地区	1回/年	平成27年 7月			
			プルトニウム				杉山地区 丸山地区	
	米	ガンマ線放出核種	大山地区 吉坂地区 杉山地区 金剛院地区 野原地区 老富地区	1回/年	平成27年 10月			
			ストロンチウム -90				大山地区	
		プルトニウム	大山地区 杉山地区					
		大根	ガンマ線放出核種		大山地区 吉坂地区 杉山地区		1回/年	平成27年 12月
					ほうれん草			大山地区 吉坂地区
高菜					吉坂地区	平成27年 4月		
生椎茸					大山地区	平成27年 4月		

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法	
農畜産物	小豆	ガンマ線放出核種	大山地区 杉山地区	2回/年	平成27年 11月	○ガンマ線放出核種 試料の前処理：採取試料に応じて前処理 測定器：Ge半導体検出器・多重波高分析装置 ○ストロンチウム-90 試料の前処理：灰試料からストロンチウム-90を分離後試料皿に固定 測定器：低バックグラウンド放射能自動測定装置 比較試料：Sr-90+Y-90 ○トリチウム 試料の前処理：蒸留して100mlに調整 測定器：低バックグラウンド液体シンチレーション計数装置 ○プルトニウム 試料の前処理：採取試料に応じて前処理 測定器：アルファ線スペクトロメータ	
			大山地区 杉山地区		平成27年 6月		
			大山地区		平成27年 6月		
			大山地区 杉山地区		平成27年 8月		
			多祢寺地区		平成27年 5、11月		
		ストロンチウム-90	1回/年	平成27年 11月			
	指標植	よもぎ	ガンマ線放出核種	大山地区 吉坂地区 杉山地区 丸山地区 老富地区	2回/年		平成27年 5、10月
				ストロンチウム-90			
		松葉	ガンマ線放出核種	大山地区 岡安地区 老富地区	1回/年		平成27年 9月
	海洋モニタリング	海水	ガンマ線放出核種	St. 3 北緯 35° 33' 54" 東経135° 29' 43"	2回/年		平成27年 8月 平成28年 2月
トリチウム				St. 1 北緯 35° 35' 18" 東経135° 28' 56" St. 2 北緯 35° 35' 25" 東経135° 30' 05"		6回/年	平成27年 4、6、8、10、12月 平成28年 2月
海底沈積物		ガンマ線放出核種	St. 3 北緯 35° 33' 54" 東経135° 29' 43" (注)	2回/年	平成27年 8月 平成28年 2月		
			プルトニウム		1回/年	平成27年 8月	

(注) 経緯度は世界測地系での数値である。

区分	調査対象	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法	
海洋モニタリング	めばる	ガンマ線放出核種	毛島沖 馬立島沖 田井地先	1回/年	平成27年 5月		
		ストロンチウム -90	毛島沖				
	さざえ	ガンマ線放出核種	毛島沖 馬立島沖 田井地先		平成27年 7月		
		ガンマ線放出核種	毛島沖		平成27年 4月		
	なまこ	ガンマ線放出核種	毛島沖 馬立島沖 田井地先		平成27年 5月		
		ストロンチウム -90	毛島沖		平成27年 4月		
	生 物	わかめ	ガンマ線放出核種		毛島沖 馬立島沖 田井地先		平成27年 4月
		あじ			田井沖		平成27年 11月
		あおりいか					平成27年 11月
		うまづらはぎ					平成27年 6月
		するめいか					平成27年 5月
		かたくちゆし					平成27年 7月
		指標 海洋 生物	ほんだわら		ガンマ線放出核種		毛島沖 馬立島沖 田井地先
	ストロンチウム -90				毛島沖		

区分	測定項目	調査地点	調査回数	調査時期	測定方法
気象観測	気温、湿度、 雨雪量、感雨、 風向、風速	放射線測定所12地点 大山測定所 吉坂測定所 倉梯測定所 塩汲測定所 岡安測定所 老富測定所 日出測定所 地頭測定所 上杉測定所 八津合測定所 本庄測定所 伏見 I 測定所	連 続	平成27年 4月 平成28年 3月	○気温 測定器：白金抵抗温度計 ○湿度 測定器：静電容器型湿度計 ○雨雪量 測定器：ヒーター付転倒ます型雨量計 ○感雨 測定器：電極面短絡電流方式感雨計 ○風向、風速 測定器：プロペラ式微風向風速計 ○積雪深 測定器：レーザ反射方式積雪深計 ○日射量 測定器：熱電堆式全日射計 ○放射収支量 測定器：熱電堆式示差放射収支計 ○大気安定度 風速、日射量又は放射収支量から日本式パスキル安定度を算出。
	積雪深	放射線測定所2地点 大山測定所 老富測定所			
	日射量 放射収支量 大気安定度	放射線測定所2地点 吉坂測定所 老富測定所			
	風向、風速	環境放射能測定車による観測 河辺原地区 三浜地区 多門院地区			

表 1-2 温排水影響調査の概要

調査の種類	調査海域	調査項目	調査回数	調査時期	調査定点等	使用船舶	備考(図中記号)
分布調査	毛島 馬立島 内浦湾湾 口部周辺 海域	水塩透 明度象	6回	平成27年 4月、6月 8月、10月 12月 平成28年 2月	25 定点 8層	平安丸 (183トン)	(●)

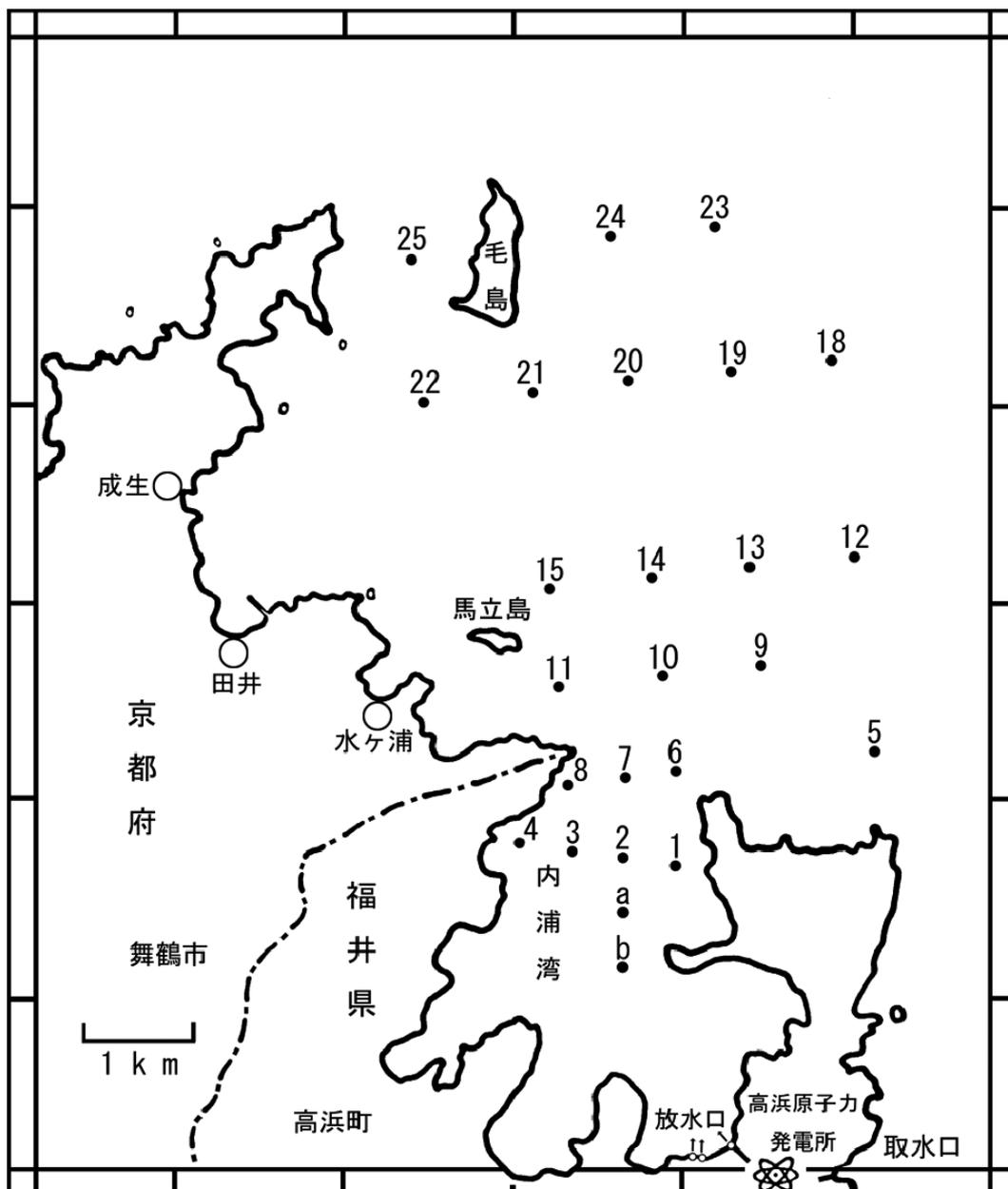


図 1-2 温排水影響調査定点図

2 環境放射線監視調査結果

(1) 空間放射線空気吸収線量率等

ア 放射線測定所による空間放射線空気吸収線量率

空間放射線空気吸収線量率は15測定所で24時間連続測定を行い、平成27年度の線量率の年平均値は、29～50nGy/h（ナノグレイ/時）であった。昭和52年度に測定を開始した大山、吉坂、倉梯測定所では、大きな変動は認められなかった。平成13年度から測定を開始した、塩汲、岡安、老富、伏見 I 測定所（対照測定所）、及び、平成25年度から測定を開始した、日出、上司、地頭、上杉、八津合、盛郷、島、本庄測定所でも大きな変動は認められなかった。

月別平均線量率は、年間を通してほぼ同じレベルで推移した。

年間の最大線量率は、68～108nGy/h（対照測定所を除く14測定所）であったが、これらはいずれも降雪に伴って地表付近の天然放射性物質が増加したためと考えられる。

空間放射線空気吸収線量率の測定結果について、一定の変動幅（平均値＋標準偏差の3倍）を超えた線量の総和は、0.6～1.6μGy/年（マイクログレイ/年）で、例年と同じ程度であった。

（表2-1、図2-1参照）

イ 環境放射能測定車及び環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率等

平成27年度の環境放射能測定車による定点測定の線量率測定結果は、22～45nGy/hであり、放射線測定所における測定結果とほぼ同程度であった。

環境放射線調査車による測定については、例年とほぼ同じ値であり、大きな変動は認められなかった。

（表2-2、表2-3参照）

ウ 空間放射線積算線量

平成27年度の26地点におけるTLD素子による積算線量は、0.37～0.66mGy/年（ミリグレイ/年）で、例年とほぼ同じ値であり、大きな変動は認められなかった。

（表2-4、図2-2、図2-3参照）

エ 浮遊じん中の放射能

吉坂、塩汲及び老富測定所において、環境大気を6時間連続吸引し、浮遊じん中の全アルファ放射能及び全ベータ放射能を測定した。

平成27年度の浮遊じん中の全アルファ放射能は、最大245mBq/m³（ミリベクレル/立方メートル）、全ベータ放射能は、最大342mBq/m³で、年間平均値については全アルファ放射能、全ベータ放射能ともに例年と同程度であり、異常は認められなかった。

（表2-5参照）

オ ラドン子孫核種濃度

平成5年度から倉梯測定所において、平成6年度からは府保健環境研究所（京都市伏見区）においても、環境大気を10分間吸引し、天然のラドン子孫核種濃度を測定した。

平成27年度は、倉梯測定所において、 $0.0\sim 17.8\text{Bq}/\text{m}^3$ 、伏見 I 測定所において、 $0.0\sim 16.2\text{Bq}/\text{m}^3$ の範囲内であり、異常は認められなかった。

（表2-6参照）

カ ガス状ヨウ素

昭和63年度から吉坂測定所において、環境大気中のガス状ヨウ素を活性炭ろ紙に吸着させる方法により測定を実施しているが、平成27年度もこれまでと同様に、ガス状ヨウ素は検出されなかった。

（表2-7参照）

(2) 気象観測

高浜発電所及び大飯発電所からの放射線の影響を的確に把握するため、風向・風速、気温、湿度、雨雪量等については大山、吉坂及び倉梯測定所等12地点において、また、日射量及び放射収支量については吉坂及び老富測定所において、積雪深については大山及び老富測定所においてそれぞれ観測を実施した。

ア 風向・風速

平成27年度における各測定所の主風向は、大山測定所では南、吉坂測定所では西北西、倉梯測定所では北北東、塩汲測定所では南南東、岡安測定所では北北東、老富測定所では南西、上杉測定所では北北東、八津合測定所では東、本庄測定所では北、日出測定所では東南東、地頭測定所では東、伏見 I 測定所では北北西であった。

風配図でみると、四季を通じて同じような出現状況を示しており、対象測定所を除く14測定所では海陸風が主体となっており、地形による影響が表れていると考えられる。

（図2-4参照）

イ 気温

平成27年度の年平均気温は、 $12.9\sim 16.4^\circ\text{C}$ であった。

（表2-8参照）

ウ 大気安定度

大気の拡散を支配する要素である大気安定度は、風速、日射量及び放射収支量から大気安定度分類表により求めているが、吉坂及び老富測定所における平成27年度の大気安定度別出現頻度も、例年と同様であった。

（表2-9参照）

(参考) 大気安定度分類表

風速 (U) m/s	日射量 (T) kw/m ²				放射収支量 (Q) kw/m ²		
	T ≥ 0.60	0.60 > T ≥ 0.30	0.30 > T ≥ 0.15	0.15 > T	Q ≥ -0.020	-0.020 > Q ≥ -0.040	-0.040 > Q
U < 2	A	A - B	B	D	D	G	G
2 ≤ U < 3	A - B	B	C	D	D	E	F
3 ≤ U < 4	B	B - C	C	D	D	D	E
4 ≤ U < 6	C	C - D	D	D	D	D	D
6 ≤ U	C	D	D	D	D	D	D

出典：発電用原子炉施設の安全解析に関する気象指針（原子力安全委員会決定、昭和57年）

- (注) 1 A：強不安定 B：並不安定 C：弱不安定 D：中立 E：弱安定 F：並安定 G：強安定
 2 放射収支量は地面から上方へ向かう量を負とする。
 3 夜間の放射収支量は普通は負であるが、まれに正となることがある。
 4 日射量及び放射収支量は、観測時前1時間の平均値をとる。
 5 日中（日の出～日の入り）は日射量を用い、夜間（日の入り～日の出）は放射収支量を用いる。
 6 日射量及び放射収支量の単位としてはkw/m²を用いる。

(3) 環境試料の核種分析

環境試料のガンマ線放出核種分析については、人工放射性核種であるヨウ素-131 (¹³¹I)、セシウム-137 (¹³⁷Cs) 等並びに天然放射性核種であるベリリウム-7 (⁷Be) 及びカリウム-40 (⁴⁰K) について定量を行った。また、陸水、海水及び空气中湿分についてはトリチウム (³H) 濃度の測定を、陸水、米、牛乳、よもぎ、めばる、なまこ及びほんだわらについては、ストロンチウム-90 (⁹⁰Sr) 濃度の測定を、陸土、海底沈積物及び米については、プルトニウム (²³⁸Pu、²³⁹Pu + ²⁴⁰Pu) 濃度の測定を行った。

ア ガンマ線放出核種分析

平成27年度のガンマ線放出核種分析結果は、次のとおりであった。

浮遊じんは1か月捕集分をまとめて核種分析をしているが、ベリリウム-7が例年と同程度検出され、東京電力福島第一原子力発電所事故の影響とみられるセシウム-134及びセシウム-137が検出されたが微量であり過去の検出値に比べて小さかった。

降下物（雨水・ちり）については、吉坂測定所及びこれと比較対照を行うため保健環境研究所において資料の採取を行い測定を実施したが、過去から検出されているベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

陸水及び陸土については、セシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

農畜産物（米、ほうれん草及び高菜など）と指標植物（よもぎ及び松葉）については、

過去から検出されている程度のセシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。生椎茸からは、福島第一原子力発電所事故の影響とみられるセシウム-134が検出されたが、過去の検出値と比べて小さかった。

海洋生物（めばる、さざえ及びわかめなど）と指標海洋生物（ほんだわら）については、過去から検出されている程度のセシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

海水については、セシウム-137が例年と同程度検出された。

海底沈積物については、セシウム-137、ベリリウム-7及びカリウム-40が例年と同程度検出された。

以上のとおり、環境試料のガンマ線放出核種分析においては、人工放射性核種であるセシウム-137及びセシウム-134が検出されたが、これは過去の核実験等や福島第一原発事故に由来するものと考えられ、高浜発電所及び大飯発電所に由来する放射性物質の影響は認められなかった。

（表2-10参照）

イ トリチウム分析

トリチウム濃度は、陸水については不検出～0.49Bq/L（ベクレル/リットル）、海水については不検出～1.7Bq/Lの範囲で検出され、例年と同程度であった。

（表2-11参照）

また、平成2年度から測定を開始している空气中湿分のトリチウム濃度は、0.49～0.68 Bq/L-水の範囲で検出され、例年と同程度であった。

（表2-12参照）

ウ ストロンチウム及びプルトニウム分析

ストロンチウム濃度は、陸水及び牛乳は、不検出～1.7mBq/L、米、よもぎ、めばる、なまこ及びほんだわらについては、不検出～650mBq/kg生の範囲内であり、異常は認められなかった。

プルトニウム濃度は、陸土及び海底沈積物については、不検出～0.023Bq/kg乾土、米は不検出であり、異常は認められなかった。

これらストロンチウム-90及びプルトニウムは、過去の核実験等に由来しているものと考えられる。

（表2-13、表2-14参照）

表2-1 平成27年度空間放射線空気吸収線量率測定結果

大山測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	75	56	57	58	56	83	59	58	108	58	74	56	108	44 ~ 139
最 小	30	31	30	30	31	30	31	30	30	26	28	30	26	18 ~ 32
平均値 (M)	33	32	33	32	32	34	32	33	35	33	33	32	33	25 ~ 36
標準偏差 (σ)	5	3	4	4	3	7	2	4	8	5	5	3	4	1 ~ 10
M+3σを超過した時間数	15 時間	22 時間	22 時間	21 時間	15 時間	20 時間	12 時間	20 時間	21 時間	21 時間	22 時間	22 時間	233 時間	8 ~ 28 時間
M+3σを超過した線量の合計	131 nGy	119 nGy	85 nGy	145 nGy	94 nGy	211 nGy	94 nGy	114 nGy	252 nGy	86 nGy	130 nGy	113 nGy	1.6 μ Gy	30 ~ 381 nGy

吉坂測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	74	63	72	66	63	78	67	90	92	61	104	58	104	47 ~ 235
最 小	34	35	34	34	35	35	35	35	35	31	32	34	31	18 ~ 38
平均値 (M)	37	37	37	37	38	38	37	39	39	37	39	37	38	26 ~ 43
標準偏差 (σ)	4	3	4	4	3	5	2	6	7	4	7	3	4	1 ~ 18
M+3σを超過した時間数	15 時間	14 時間	14 時間	22 時間	18 時間	15 時間	11 時間	14 時間	19 時間	18 時間	17 時間	20 時間	197 時間	7 ~ 30 時間
M+3σを超過した線量の合計	109 nGy	99 nGy	101 nGy	135 nGy	75 nGy	125 nGy	79 nGy	196 nGy	200 nGy	76 nGy	219 nGy	86 nGy	1.5 μ Gy	16 ~ 743 nGy

倉梯測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	81	71	77	70	67	73	70	70	91	70	108	68	108	56 ~ 111
最 小	47	47	47	47	47	47	45	46	47	46	43	46	43	29 ~ 50
平均値 (M)	49	50	50	49	50	49	49	50	51	50	50	49	50	41 ~ 54
標準偏差 (σ)	3	2	3	3	2	3	2	3	5	4	6	2	3	1 ~ 11
M+3σを超過した時間数	12 時間	18 時間	14 時間	23 時間	15 時間	16 時間	10 時間	19 時間	17 時間	17 時間	18 時間	18 時間	197 時間	5 ~ 28 時間
M+3σを超過した線量の合計	92 nGy	88 nGy	85 nGy	99 nGy	51 nGy	73 nGy	57 nGy	66 nGy	147 nGy	74 nGy	161 nGy	69 nGy	1.1 μ Gy	9 ~ 269 nGy

- (注) 1. 測定値は宇宙線の寄与を含まない。
 2. 標準偏差 (σ) は測定値のばらつきの程度を表し、測定値が (平均値) + (標準偏差の3倍) の範囲にあれば、ほぼ平常の変動幅の範囲内であるとされる。この幅を超えた場合は、気象条件等の原因を検討する。

表2-1 つづき

塩汲測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	74	57	67	64	62	89	57	79	91	59	95	59	95	49 ~ 188
最 小	34	35	34	34	35	34	34	34	34	26	30	34	26	17 ~ 37
平均値 (M)	37	37	37	37	37	37	36	37	38	35	37	36	37	25 ~ 41
標準偏差 (σ)	4	3	4	4	2	6	2	4	7	5	6	3	4	1 ~ 13
M+3σを超過した時間数	14 時間	20 時間	15 時間	26 時間	17 時間	15 時間	13 時間	20 時間	18 時間	14 時間	15 時間	23 時間	210 時間	8 ~ 31 時間
M+3σを超過した線量の合計	98 nGy	104 nGy	87 nGy	132 nGy	73 nGy	196 nGy	68 nGy	123 nGy	212 nGy	48 nGy	175 nGy	108 nGy	1.4 μ Gy	36 ~ 418 nGy

岡安測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	74	57	64	64	60	63	56	69	79	62	77	55	79	48 ~ 177
最 小	35	35	35	35	35	35	36	35	35	33	34	35	33	19 ~ 37
平均値 (M)	38	37	38	38	38	38	38	39	39	38	39	37	38	29 ~ 42
標準偏差 (σ)	4	2	3	3	2	3	2	4	6	4	6	3	3	2 ~ 14
M+3σを超過した時間数	13 時間	18 時間	18 時間	25 時間	18 時間	18 時間	10 時間	17 時間	19 時間	15 時間	16 時間	21 時間	208 時間	5 ~ 29 時間
M+3σを超過した線量の合計	93 nGy	84 nGy	81 nGy	109 nGy	64 nGy	75 nGy	48 nGy	122 nGy	160 nGy	71 nGy	176 nGy	70 nGy	1.2 μ Gy	16 ~ 545 nGy

老富測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	73	70	70	75	64	71	70	94	82	66	104	69	104	55 ~ 211
最 小	42	42	42	42	43	42	43	42	42	35	35	40	35	18 ~ 44
平均値 (M)	44	44	45	44	45	45	45	46	46	43	43	43	44	29 ~ 49
標準偏差 (σ)	4	3	3	4	2	4	2	6	6	4	8	3	4	2 ~ 17
M+3σを超過した時間数	18 時間	18 時間	21 時間	23 時間	11 時間	23 時間	11 時間	15 時間	20 時間	10 時間	17 時間	17 時間	204 時間	3 ~ 28 時間
M+3σを超過した線量の合計	95 nGy	103 nGy	85 nGy	108 nGy	57 nGy	80 nGy	92 nGy	186 nGy	168 nGy	41 nGy	266 nGy	80 nGy	1.4 μ Gy	14 ~ 635 nGy

(注) 前頁に同じ。

表2-1 つづき

日出測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	58	64	74	65	64	74	61	69	101	72	89	51	101	45 ~ 99
最 小	34	35	35	34	35	35	35	34	34	33	31	34	31	26 ~ 36
平均値 (M)	37	38	38	37	38	38	38	38	40	39	39	37	38	36 ~ 42
標準偏差 (σ)	3	2	4	3	3	5	2	5	9	5	7	2	4	1 ~ 9
M+3σを超過した時間数	20 時間	15 時間	15 時間	22 時間	19 時間	24 時間	13 時間	20 時間	22 時間	15 時間	21 時間	20 時間	226 時間	13 ~ 23 時間
M+3σを超過した線量の合計	60 nGy	94 nGy	96 nGy	144 nGy	99 nGy	141 nGy	84 nGy	133 nGy	342 nGy	81 nGy	151 nGy	71 nGy	1.5 μ Gy	34 ~ 249 nGy

上司測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	80	70	68	70	72	76	74	77	104	76	79	63	104	60 ~ 97
最 小	46	47	47	47	48	47	48	47	46	44	45	45	44	32 ~ 49
平均値 (M)	50	51	50	50	52	50	51	50	50	50	50	49	50	47 ~ 53
標準偏差 (σ)	3	2	3	3	3	4	2	4	6	4	5	2	3	2 ~ 9
M+3σを超過した時間数	11 時間	14 時間	20 時間	18 時間	11 時間	15 時間	11 時間	18 時間	17 時間	16 時間	22 時間	21 時間	194 時間	4 ~ 24 時間
M+3σを超過した線量の合計	94 nGy	65 nGy	57 nGy	89 nGy	73 nGy	104 nGy	81 nGy	110 nGy	228 nGy	84 nGy	105 nGy	65 nGy	1.2 μ Gy	21 ~ 162 nGy

地頭測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	69	57	66	63	64	62	58	57	71	69	85	56	85	50 ~ 85
最 小	36	37	37	37	37	36	37	37	37	35	36	36	35	28 ~ 41
平均値 (M)	39	40	40	39	40	40	40	40	40	40	41	39	40	40 ~ 45
標準偏差 (σ)	3	2	3	3	3	3	2	3	4	4	5	2	3	2 ~ 8
M+3σを超過した時間数	13 時間	17 時間	19 時間	25 時間	13 時間	19 時間	11 時間	23 時間	15 時間	18 時間	18 時間	18 時間	209 時間	6 ~ 24 時間
M+3σを超過した線量の合計	93 nGy	60 nGy	72 nGy	86 nGy	81 nGy	94 nGy	54 nGy	55 nGy	122 nGy	85 nGy	98 nGy	64 nGy	1.0 μ Gy	13 ~ 122 nGy

(注) 1, 2. 前頁と同じ。

3. 日出、上司及び地頭測定所は平成25年4月から測定を開始している。

表2-1 つづき

上杉測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	56	46	56	52	49	52	51	50	50	48	74	43	74	37 ~ 95
最 小	26	27	26	27	27	27	27	26	26	23	24	26	23	20 ~ 28
平均値 (M)	29	29	29	29	30	29	29	30	29	29	29	28	29	28 ~ 31
標準偏差 (σ)	3	2	3	3	2	3	2	3	3	3	5	2	3	1 ~ 7
M+3σを超過した時間数	18 時間	17 時間	19 時間	21 時間	11 時間	20 時間	8 時間	17 時間	17 時間	15 時間	17 時間	15 時間	195 時間	8 ~ 24 時間
M+3σを超過した線量の合計	69 nGy	62 nGy	81 nGy	105 nGy	51 nGy	60 nGy	62 nGy	61 nGy	76 nGy	53 nGy	142 nGy	59 nGy	0.9 μGy	17 ~ 155 nGy

八津合測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	62	56	65	65	62	59	61	59	64	59	95	54	95	50 ~ 100
最 小	35	36	35	35	36	36	37	36	36	31	29	35	29	25 ~ 37
平均値 (M)	38	38	38	38	39	39	39	40	40	38	39	38	39	36 ~ 41
標準偏差 (σ)	3	2	3	3	2	3	2	3	4	4	6	2	3	2 ~ 8
M+3σを超過した時間数	17 時間	10 時間	14 時間	23 時間	14 時間	17 時間	8 時間	15 時間	20 時間	13 時間	19 時間	16 時間	186 時間	3 ~ 21 時間
M+3σを超過した線量の合計	66 nGy	64 nGy	76 nGy	96 nGy	51 nGy	69 nGy	53 nGy	52 nGy	105 nGy	68 nGy	157 nGy	50 nGy	0.9 μGy	2 ~ 170 nGy

盛郷測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	77	81	74	81	79	72	73	69	90	75	94	63	94	62 ~ 100
最 小	46	46	46	46	47	46	47	47	46	37	38	44	37	25 ~ 48
平均値 (M)	49	50	50	50	51	49	51	52	51	49	50	49	50	34 ~ 53
標準偏差 (σ)	3	3	4	4	3	3	3	4	4	5	7	3	4	2 ~ 10
M+3σを超過した時間数	12 時間	9 時間	16 時間	14 時間	10 時間	17 時間	8 時間	15 時間	14 時間	7 時間	17 時間	10 時間	149 時間	0 ~ 20 時間
M+3σを超過した線量の合計	71 nGy	71 nGy	61 nGy	93 nGy	41 nGy	66 nGy	60 nGy	33 nGy	100 nGy	32 nGy	163 nGy	28 nGy	0.8 μGy	0 ~ 184 nGy

(注) 1, 2. 前頁と同じ。

3. 上杉、八津合及び盛郷測定所は平成25年4月から測定を開始している。

表2-1 つづき

島測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	63	61	61	64	50	56	59	51	61	59	70	47	70	47 ~ 83
最 小	33	33	33	33	34	34	34	33	34	32	31	33	31	26 ~ 34
平均値 (M)	36	37	37	37	37	37	37	37	38	38	37	35	37	34 ~ 38
標準偏差 (σ)	3	3	4	4	2	3	2	3	3	4	4	2	3	2 ~ 6
M+3 σ を超過した時間数	12 時間	10 時間	18 時間	14 時間	9 時間	17 時間	7 時間	14 時間	13 時間	20 時間	14 時間	11 時間	159 時間	3 ~ 17 時間
M+3 σ を超過した線量の合計	80 nGy	63 nGy	67 nGy	70 nGy	12 nGy	75 nGy	58 nGy	35 nGy	46 nGy	68 nGy	92 nGy	25 nGy	0.7 μ Gy	2 ~ 156 nGy

本庄測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去2年間の変動幅
最 大	54	60	58	56	50	52	56	49	47	61	68	48	68	44 ~ 76
最 小	32	33	33	33	34	33	34	33	34	33	32	33	32	26 ~ 34
平均値 (M)	35	36	36	36	37	36	36	37	37	37	37	36	36	36 ~ 38
標準偏差 (σ)	3	2	3	3	2	2	2	3	3	3	4	2	3	2 ~ 6
M+3 σ を超過した時間数	18 時間	8 時間	14 時間	18 時間	5 時間	20 時間	7 時間	15 時間	18 時間	20 時間	17 時間	15 時間	175 時間	4 ~ 20 時間
M+3 σ を超過した線量の合計	69 nGy	54 nGy	60 nGy	71 nGy	19 nGy	58 nGy	55 nGy	22 nGy	21 nGy	68 nGy	99 nGy	32 nGy	0.6 μ Gy	2 ~ 125 nGy

伏見 I 測定所

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	71	69	69	76	61	55	56	64	54	54	56	55	76	46 ~ 86
最 小	38	38	37	37	37	38	38	37	37	38	38	37	37	35 ~ 40
平均値 (M)	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40	39	39	40	38 ~ 43
標準偏差 (σ)	3	3	5	4	3	2	2	3	2	2	2	2	3	1 ~ 4
M+3 σ を超過した時間数	10 時間	19 時間	24 時間	20 時間	18 時間	20 時間	10 時間	18 時間	23 時間	24 時間	17 時間	18 時間	221 時間	2 ~ 30 時間
M+3 σ を超過した線量の合計	82 nGy	135 nGy	113 nGy	132 nGy	80 nGy	65 nGy	52 nGy	93 nGy	63 nGy	72 nGy	53 nGy	70 nGy	1.0 μ Gy	5 ~ 156 nGy

(注) 1, 2. 前頁に同じ。

3. 島及び本庄測定所は平成25年4月から測定を開始している。

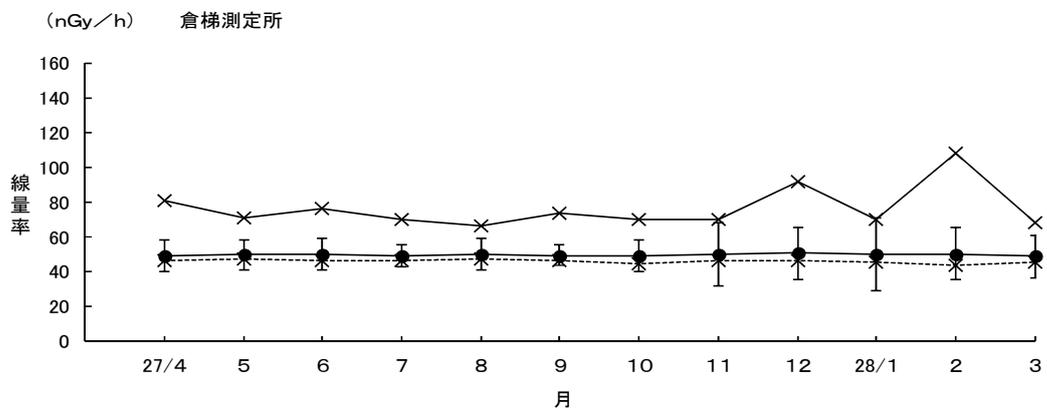
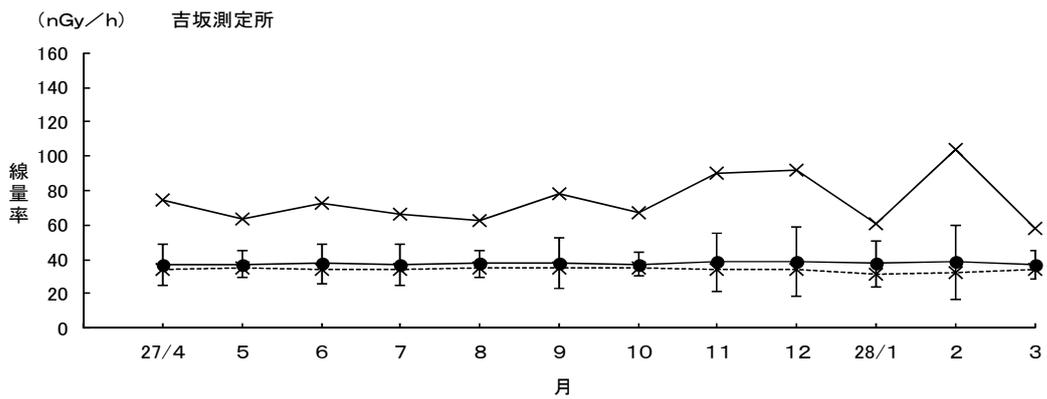
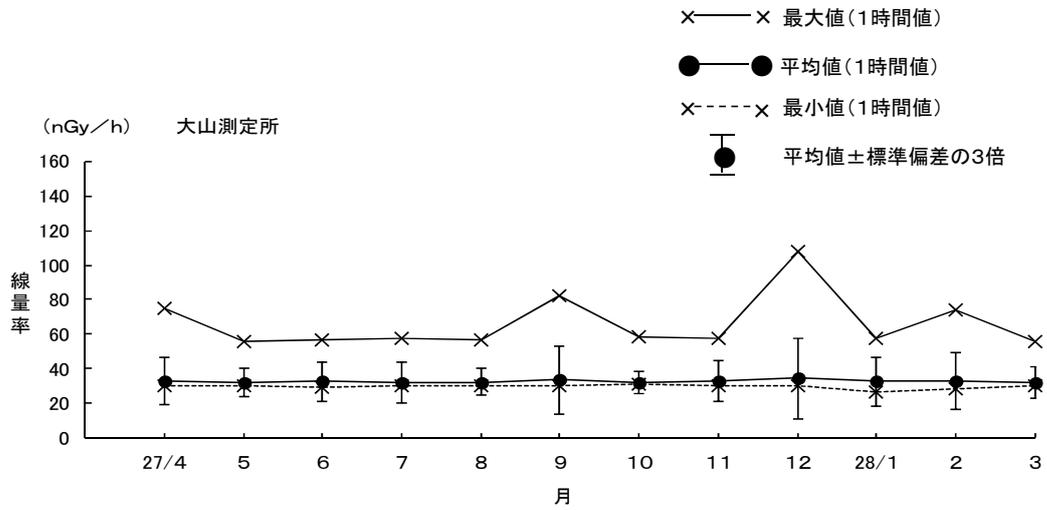


図2-1 平成27年度空間放射線空気吸収線量率測定結果

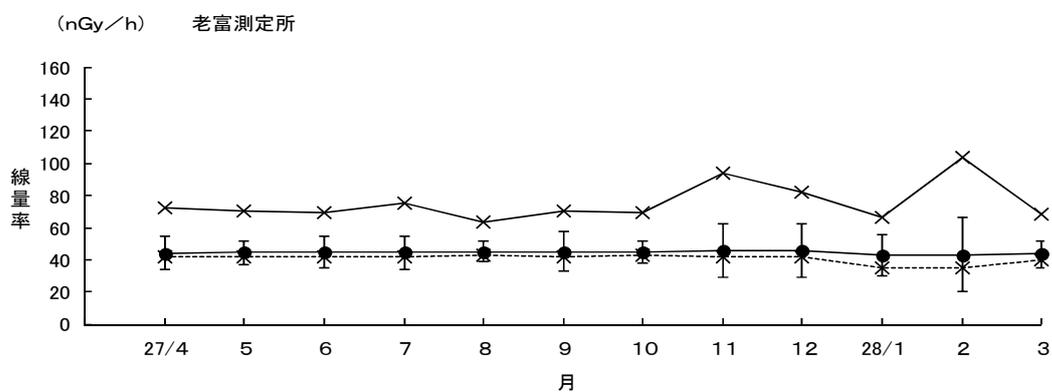
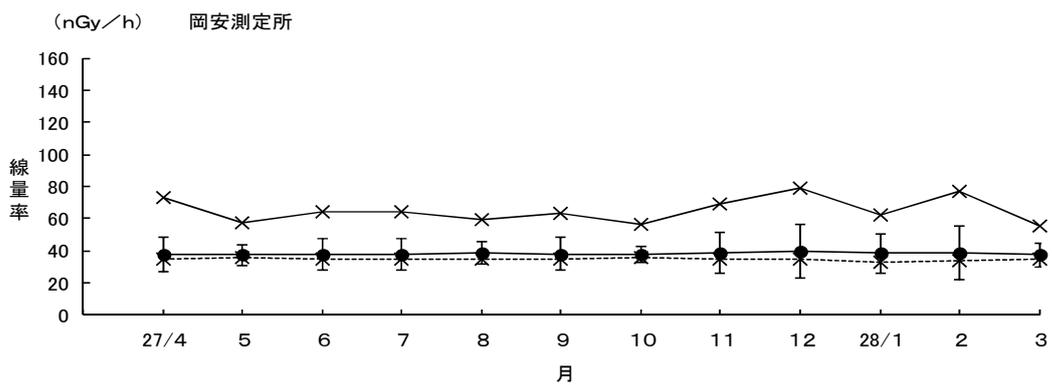
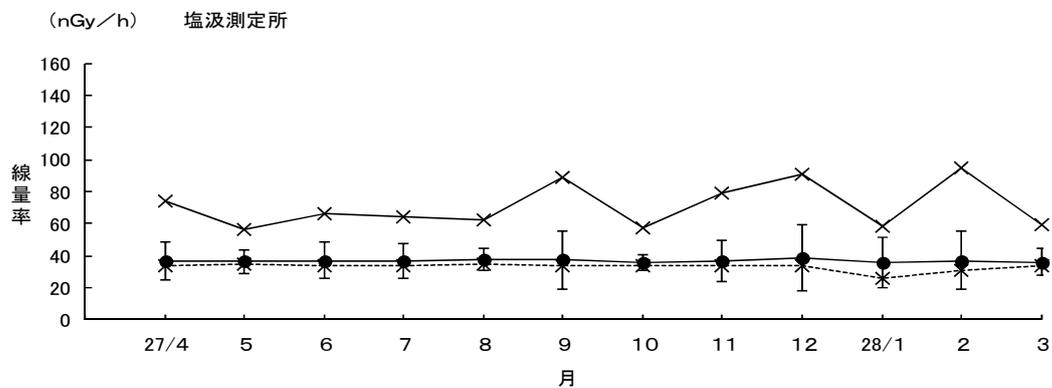


図2-1つづき

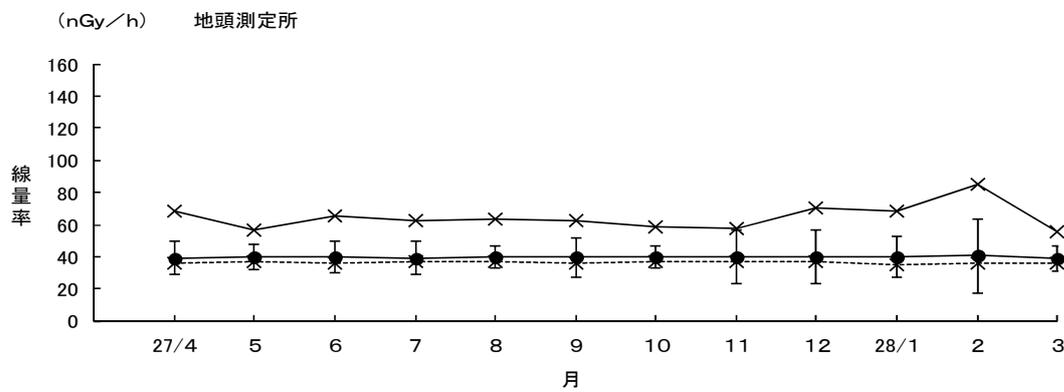
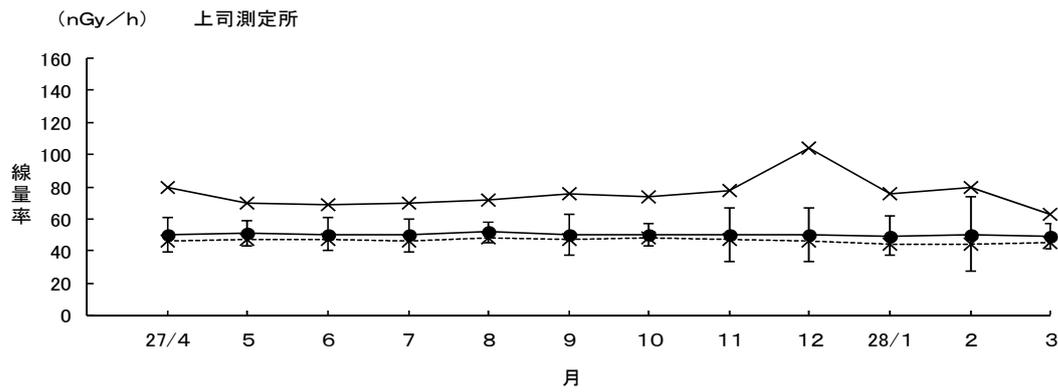
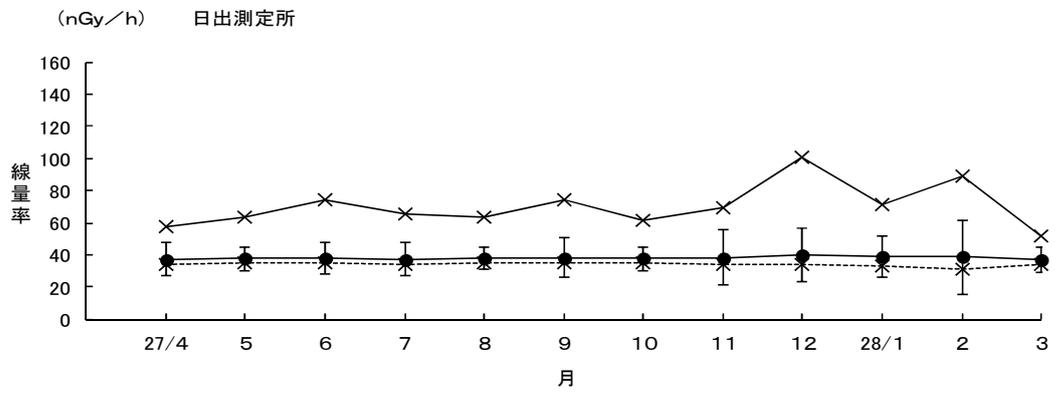


図2-1つづき

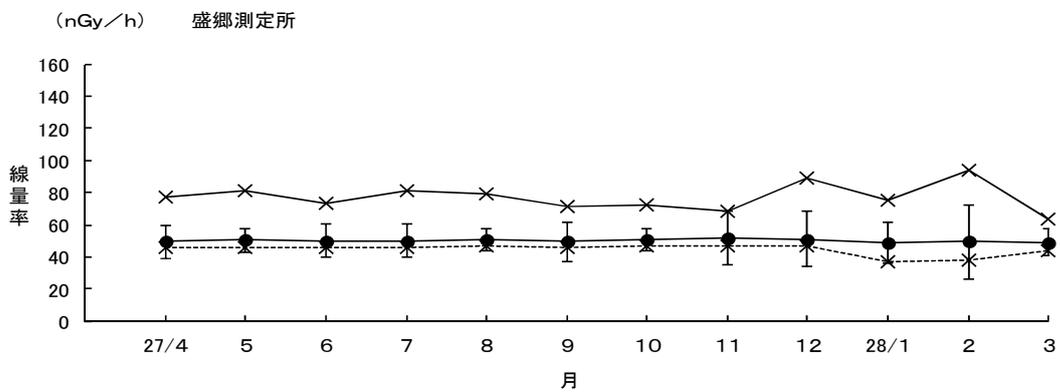
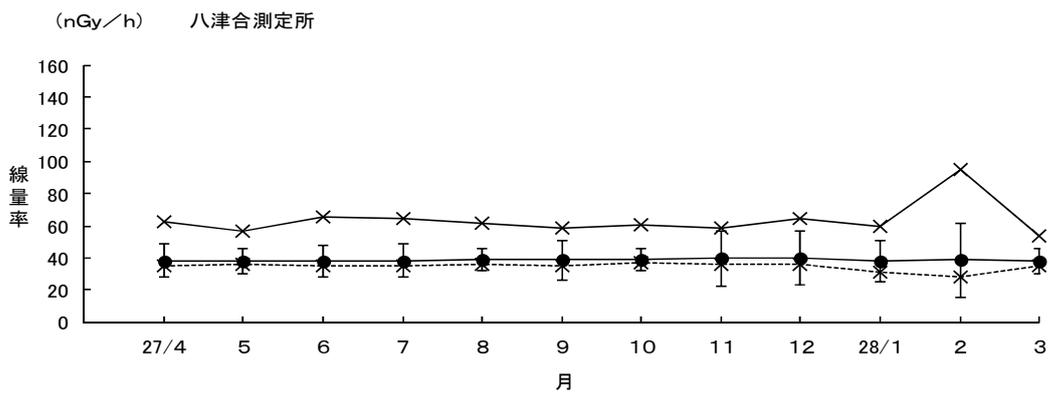
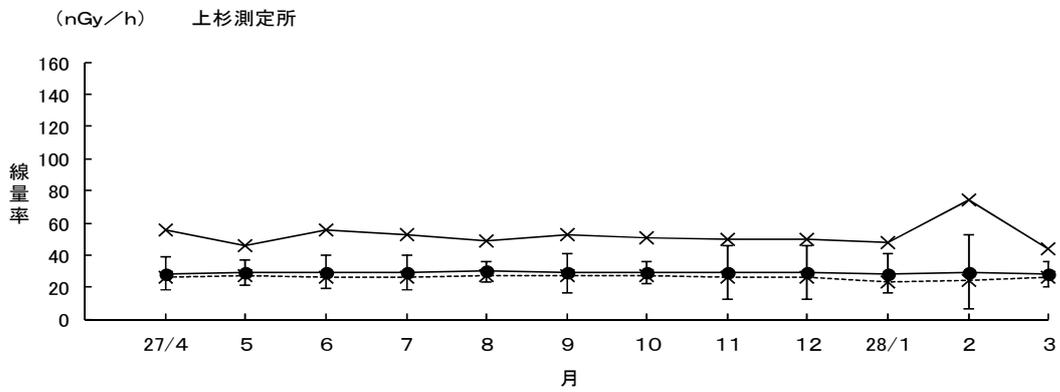


図2-1つづき

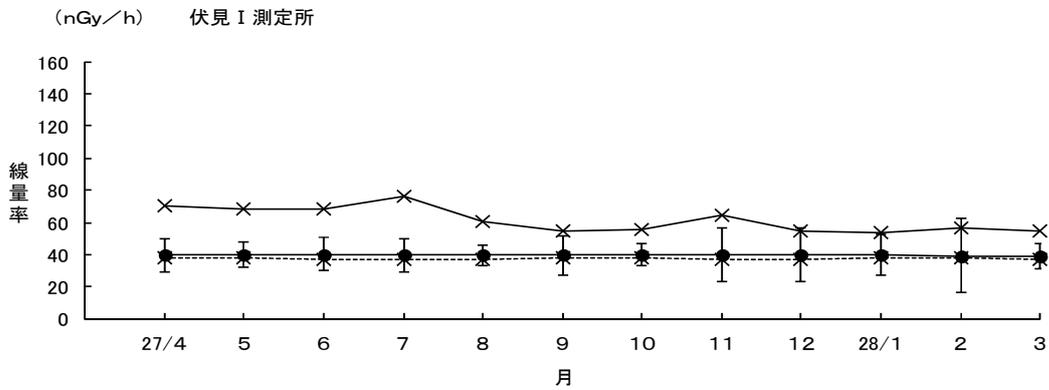
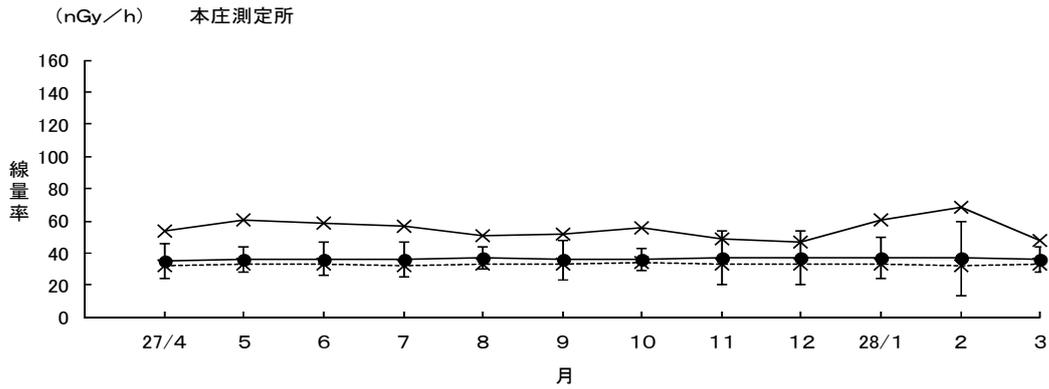
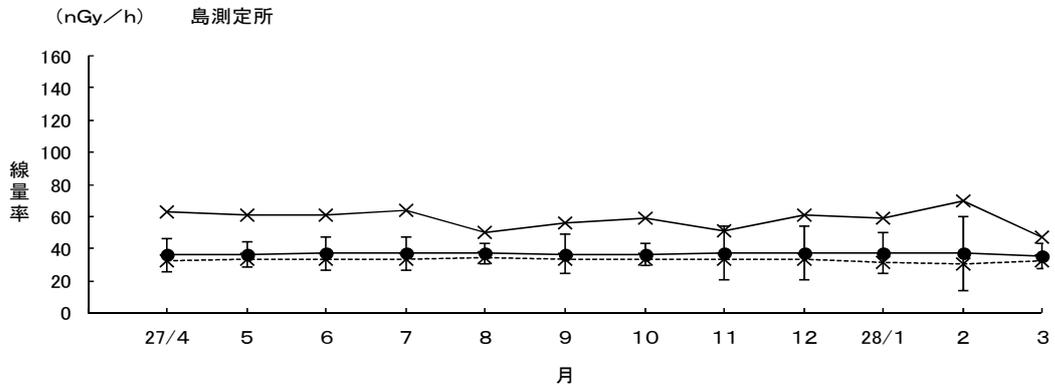


図2-1つづき

表2-2 平成27年度環境放射能測定車による空間放射線空気吸収線量率及び気象の測定結果

河 辺 原 地 区

測定日等	項 目	天候	気温 (°C)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s)	(時刻)
				最大	最小	平均		
27.5.14	(13:20~14:10)	晴	25.4	28	28	28	東 3.0	(14:00)
27.9.15	(10:30~11:20)	晴	23.7	29	28	29	静穏 0.0	(11:00)
27.12.17	(10:40~11:40)	晴	7.3	33	31	33	西 4.6	(11:00)
28.3.9	(10:00~11:00)	小雨	7.6	45	41	43	東南東 0.4	(11:00)
平成27年度		—	—	45	28	33	—	
過去10年間の変動幅		—	—	57	20	—	—	

三 浜 地 区

測定日等	項 目	天候	気温 (°C)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s)	(時刻)
				最大	最小	平均		
27.5.13	(14:20~15:10)	晴	25.8	26	25	25	南南東 1.6	(15:00)
27.9.14	(14:20~15:10)	晴	23.4	33	33	33	西南西 2.1	(15:00)
27.12.16	(14:10~15:10)	晴	11.3	33	31	32	北西 4.3	(15:00)
28.3.8	(13:30~14:30)	曇	12.1	34	29	31	西 0.9	(14:00)
平成27年度		—	—	34	25	30	—	
過去10年間の変動幅		—	—	57	23	—	—	

多 門 院 地 区

測定日等	項 目	天候	気温 (°C)	線量率 (nGy/h)			風向・風速 (m/s)	(時刻)
				最大	最小	平均		
27.5.13	(16:30~17:20)	晴	26.1	23	22	23	北西 3.0	(17:00)
27.9.14	(16:50~17:40)	晴	20.9	25	24	25	静穏 0.0	(17:00)
27.12.16	(16:20~17:20)	曇	8.2	27	24	26	南南東 1.0	(17:00)
28.3.8	(15:30~16:30)	小雨	10.6	35	31	33	南南東 0.6	(16:00)
平成27年度		—	—	35	22	26	—	
過去10年間の変動幅		—	—	62	14	—	—	

- (注) 1. 測定値は宇宙線の寄与を含まない。
 2. 風速の静穏とは0.3m/s未満を示す。

表2-3 平成27年度環境放射線調査車による空間放射線空気吸収線量率測定結果

単位：nGy/h(ナノグレイ/時)

地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
東舞鶴地域	大波下朝来中 22	尾塩波峠塩 27	登尾塩波峠塩 27	尾塩波峠塩 33	塩波峠塩 25	波杉 20	山松尾寺 18	吉坂金剛院 25	堂奥多門院 33	堂奥多門院 21	堂奥多門院 18	堂奥多門院 22
東舞鶴地域	21	27	27	32	25	21	19	24	33	21	18	22
東舞鶴地域	22	27	27	35	26	24	24	27	35	24	20	23
東舞鶴地域	23	27	27	33	26	21	19	25	32	22	17	21
東舞鶴地域	23	27	28	35	26	24	24	27	35	24	20	23
東舞鶴地域	21~35	26~43	25~49	32~55	24~53	20~48	19~55	24~72	32~82	22~60	18~65	21~65
東舞鶴地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
東舞鶴地域	中丹東保健所	舞鶴市役所前	大波下	田中	河辺由里	栢尾	大田	山田	井水ヶ浦	野原	三原	浜
東舞鶴地域	23	26	22	20	24	24	21	30	19	24	27	27
東舞鶴地域	22	27	21	20	23	24	19	30	19	23	28	28
東舞鶴地域	25	29	22	21	25	26	20	30	20	24	29	29
東舞鶴地域	23	24	20	20	23	24	19	29	18	23	28	28
東舞鶴地域	25	29	22	21	25	26	21	30	20	24	29	29
東舞鶴地域	22~41	25~41	22~35	21~33	23~39	24~42	19~38	30~55	19~40	22~45	28~40	28~40
東舞鶴地域	1	2	3	4	5	6	7	8				
東舞鶴地域	上根公民館	上林中学校	綾部市林業者等健康管理センター	故郷町 岩村	老富会館	矢黒畑	下迫	在中				
綾部老富地区	27	29	29	38	30	21	20	22				
綾部老富地区	28	33	31	43	34	24	24	27				
綾部老富地区	30	33	30	40	31	22	22	26				
綾部老富地区	28	30	30	37	29	20	19	24				
綾部老富地区	30	33	31	43	34	24	24	27				
綾部老富地区	28~35	30~43	30~44	37~48	29~45	20~36	19~33	22~36				
綾部老富地区	1	2	3	4	5	6						
綾部老富地区	由良小学校	上漆原 生活改善センター	田岡田 中学校	加佐中学校	綾部総合庁舎	綾部総合公園						
綾部老富地区	25	38	37	21	32	22						
綾部老富地区	28	39	40	25	33	23						
綾部老富地区	29	48	40	25	33	26						
綾部老富地区	27	39	39	25	33	24						
綾部老富地区	29	48	40	25	33	26						
綾部老富地区	24~33	36~45	35~44	22~29	28~41	22~41						

(注) 1 測定値は1分間の測定値の3回分の平均値である。
2 測定値には宇宙線の寄与を含まない。

表2-3 つづき

単位：mGy/h(ナノグレイ/時)

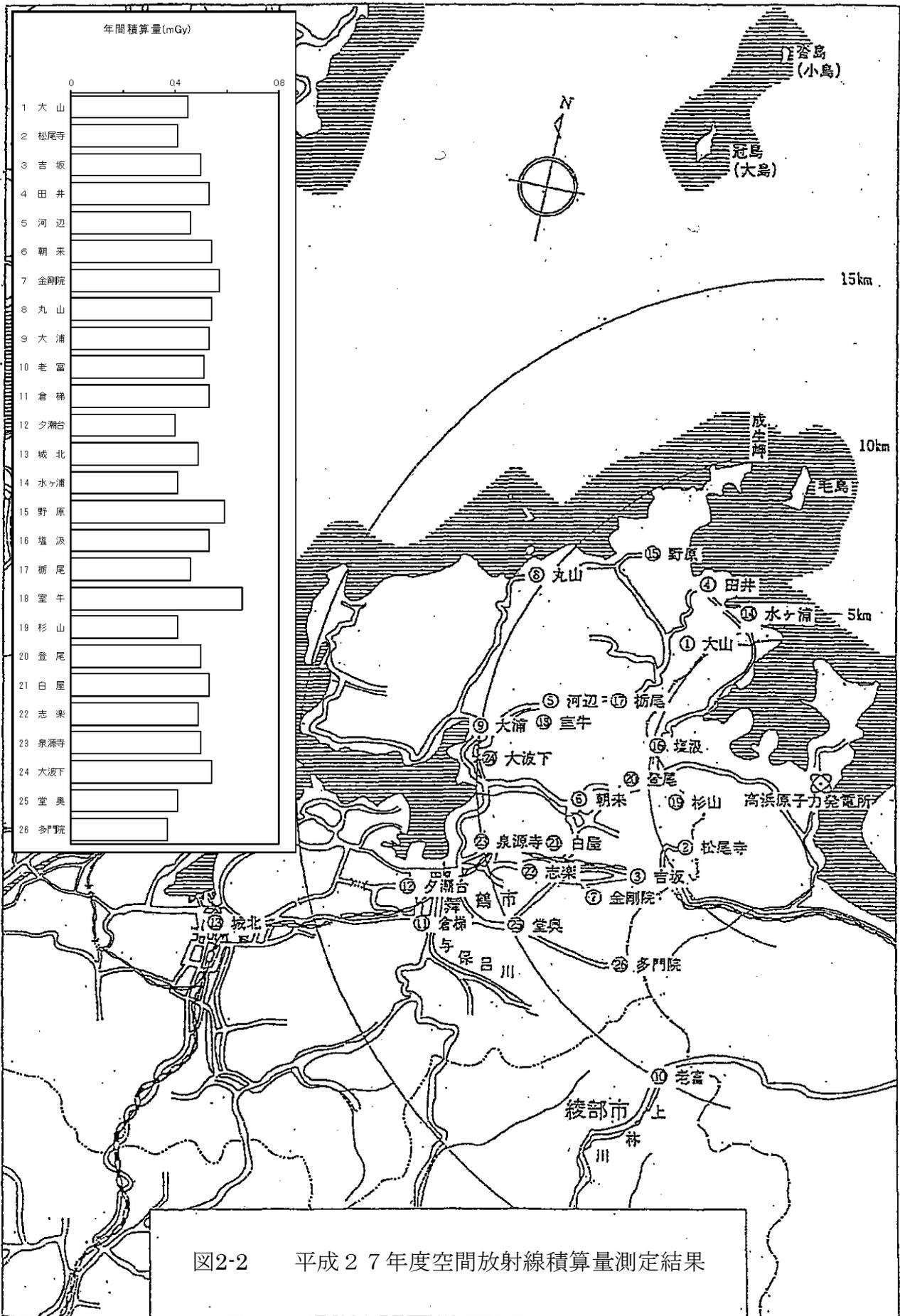
福知山市 山田区	地点	1	2	3						
	年月日	福知山市役所 大江支所 中丹支線学校	福知山市役所 大江支所	藤江公民館						
	27.5.8 (晴)	36	31	35						
	27.9.8 (曇)	35	27	33						
	27.12.4 (晴)	39	34	38						
	28.3.4 (晴)	38	34	37						
平成27年度 (最大)	39	34	38							
過去2年間の変動幅	33~41	27~40	32~45	4	5	6	7	8	9	
伊根・橋北地区	地点	1	2	3						
	年月日	丹波町役場 伊根の浦支線学校 伊根小学校	伊根の浦支線学校 伊根小学校	伊根中学校	伊根町役場 伊根中学校	伊根中学校	泊公民館	本庄中学校		
	27.5.14 (晴)	34	32	37	34	27	31	31	35	30
	27.9.10 (曇)	37	35	39	37	28	34	33	36	32
	27.12.1 (曇)	39	35	38	36	29	31	33	37	33
	28.3.8 (曇)	36	36	41	40	30	35	35	38	35
平成27年度 (最大)	39	36	41	40	30	35	35	38	35	
過去2年間の変動幅	33~43	29~37	35~40	35~40	27~32	30~36	31~35	33~42	29~44	
宮津・栗田・由良地区	地点	1	2	3						
	年月日	智恩寺 宮津市役所	宮津市役所 栗田中学校	栗田中学校	島陰公民館 丹後由良駅	菅津総合庁舎 上宮津小学校				
	27.5.14 (晴)	31	36	38	48	36	30	38		
	27.9.10 (曇)	35	41	44	51	40	31	41		
	27.12.1 (曇)	36	41	44	49	37	31	40		
	28.3.8 (曇)	33	37	41	49	37	28	39		
平成27年度 (最大)	36	41	44	51	40	31	41			
過去2年間の変動幅	30~39	35~45	37~49	48~58	37~49	28~41	37~56			
京丹波町地域	地点	1	2	3						
	年月日	おちクラウンド 和知中学校	和知中学校	ワッヂハイラル わか	仏主 大野ダム	大野小学校	南丹市美山支所			
	27.5.19 (曇)	32	32	24	31	39	32	36		
	27.9.8 (曇)	34	33	24	33	39	33	35		
	27.12.17 (晴)	38	36	25	34	39	34	36		
	28.3.14 (雨)	42	40	30	39	45	40	43		
平成27年度 (最大)	42	40	30	39	45	40	43			
過去2年間の変動幅	34~47	33~47	24~42	29~50	38~61	31~49	34~53			
南丹市美山町地域	地点	1	2	3						
	年月日	中風寺 福居	福居	盛郷公民館 美山出張所	知井小学校					
	27.5.19 (晴)	33	36	39	30	35				
	27.9.8 (晴)	36	40	45	36	41				
	27.12.17 (曇)	35	39	41	32	35				
	28.3.14 (曇)	34	37	40	31	35				
平成27年度 (最大)	36	40	45	36	41					
過去2年間の変動幅	29~39	29~44	35~46	29~34	35~41					

(注) 前頁に同じ。

表2-4 平成27年度空間放射線積算線量測定結果

単位：mGy（ミリグレイ）

番号	測定地点		積算線量（92日換算）				27年度 年間積算値	過去10年間 の 年間積算値	
	発電所からの距離(km)	▽	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
1	大	山	5.8	0.11	0.11	0.11	0.12	0.45	0.10～0.13
2	松	尾寺	4.5	0.10	0.10	0.10	0.11	0.41	0.09～0.12
3	吉	坂	5.8	0.12	0.12	0.13	0.13	0.50	0.11～0.14
4	田	井	6.0	0.13	0.13	0.13	0.14	0.53	0.12～0.15
5	河	辺	8.0	0.11	0.11	0.12	0.12	0.46	0.11～0.13
6	朝	来	7.2	0.13	0.13	0.14	0.14	0.54	0.12～0.16
7	金	剛院	7.6	0.14	0.14	0.14	0.15	0.57	0.12～0.16
8	丸	山	10.6	0.13	0.14	0.13	0.14	0.54	0.13～0.15
9	大	浦	10.1	0.13	0.13	0.13	0.14	0.53	0.13～0.16
10	老	富	10.0	0.12	0.13	0.13	0.13	0.51	0.10～0.15
11	倉	梯	12.6	0.13	0.13	0.13	0.14	0.53	0.13～0.15
12	夕	潮台	11.9	0.10	0.10	0.10	0.10	0.40	0.09～0.12
13	城	北	17.8	0.12	0.12	0.12	0.13	0.49	0.12～0.14
14	水	ヶ浦	5.3	0.10	0.10	0.10	0.11	0.41	0.09～0.12
15	野	原	8.7	0.14	0.15	0.15	0.15	0.59	0.14～0.17
16	塩	汲	5.2	0.13	0.13	0.13	0.14	0.53	0.11～0.15
17	栃	尾	6.5	0.11	0.12	0.11	0.12	0.46	0.11～0.13
18	室	牛	8.0	0.16	0.16	0.17	0.17	0.66	0.15～0.18
19	杉	山	4.4	0.10	0.10	0.10	0.11	0.41	0.09～0.12
20	登	尾	5.7	0.12	0.12	0.13	0.13	0.50	0.12～0.14
21	白	屋	7.2	0.13	0.13	0.13	0.14	0.53	0.12～0.15
22	志	楽	9.0	0.12	0.12	0.12	0.13	0.49	0.11～0.14
23	泉	源寺	9.4	0.12	0.12	0.13	0.13	0.50	0.12～0.14
24	大	波下	9.8	0.13	0.13	0.14	0.14	0.54	0.12～0.15
25	堂	奥	10.0	0.10	0.10	0.10	0.11	0.41	0.10～0.14
26	多	門院	8.9	0.09	0.09	0.09	0.10	0.37	0.09～0.10



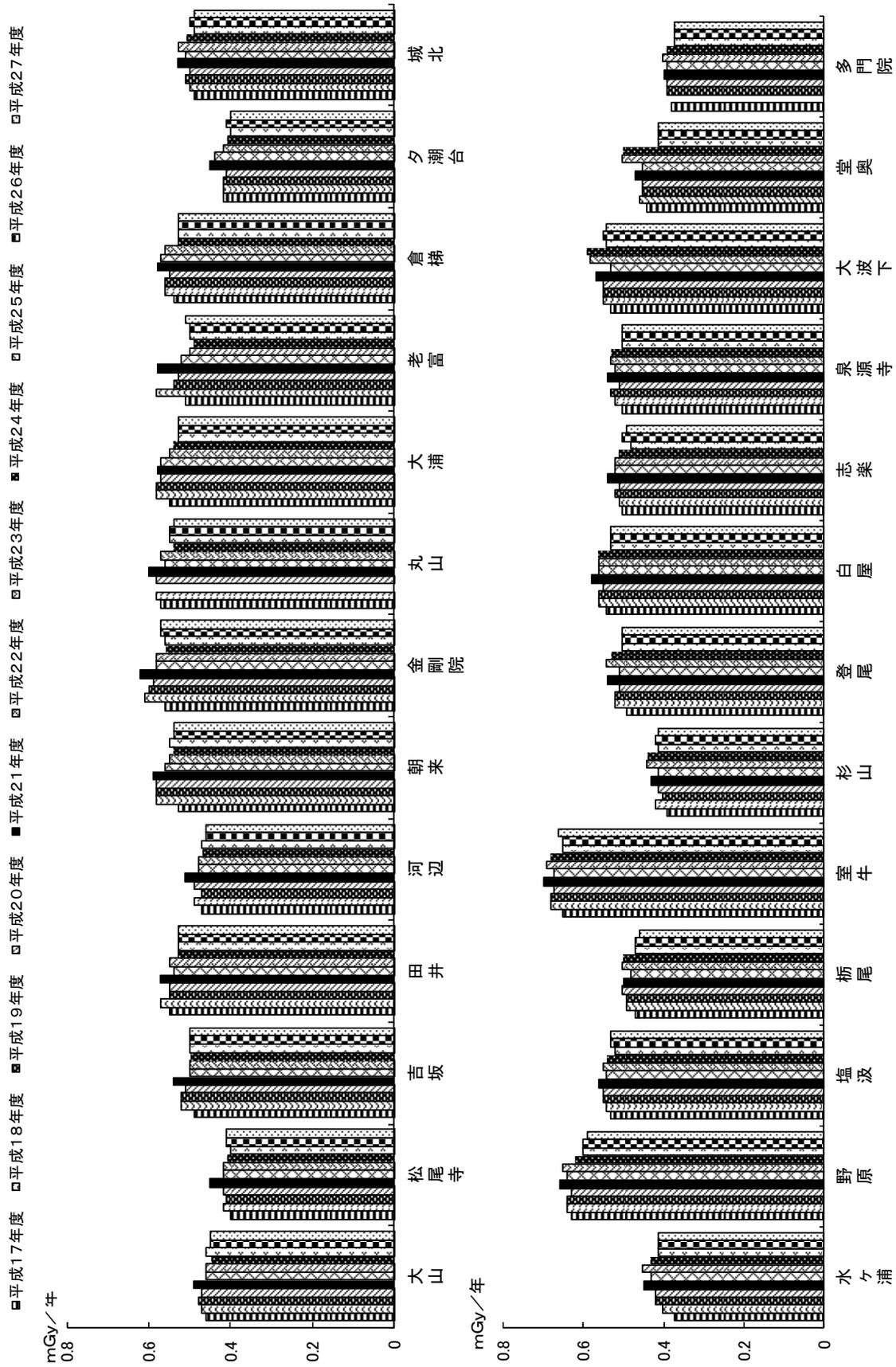


図2-3 空間放射線積算線量（年間積算値）の経年変化

表2-5 平成27年度浮遊じん中の放射能測定結果

単位：mBq/m³（ミリベクレル/立方メートル）

項目	測定所	年月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の 変動幅
全 ア ル フ ア 放 射 能	吉 坂	最大	131	176	138	96	156	100	179	149	86	65	63	97	179	18 ~ 204
		平均	29	53	36	27	44	27	56	38	25	22	21	27	34	5 ~ 62
	塩 汲	最大	37	50	48	42	65	58	71	69	37	41	33	37	71	13 ~ 92
		平均	14	23	15	13	22	14	26	19	11	11	10	11	16	3 ~ 32
	老 富	最大	217	207	193	143	245	124	228	185	103	96	62	133	245	14 ~ 236
		平均	33	59	39	30	61	30	67	41	25	21	19	30	38	4 ~ 70
全 ベ ー タ 放 射 能	吉 坂	最大	174	220	195	126	216	146	242	190	120	88	85	139	242	32 ~ 319
		平均	39	72	48	36	60	37	79	54	35	31	29	37	46	11 ~ 100
	塩 汲	最大	53	76	71	56	93	88	109	100	56	56	47	50	109	24 ~ 140
		平均	19	33	22	18	32	20	38	29	17	16	15	16	23	6 ~ 46
	老 富	最大	315	291	297	212	338	185	342	286	157	133	90	191	342	23 ~ 374
		平均	47	88	58	44	88	44	100	62	36	31	26	44	56	8 ~ 107

(注) 6時間集じん、6時間放置後測定

表2-6 平成27年度ラドン子孫核種濃度測定結果

倉梯測定所

単位：Bq/m³(ベクレル/立方メートル)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	12.7	12.6	17.8	15.1	14.7	11.2	15.5	17.2	15.5	15.2	12.3	13.7	17.8	8.1 ~ 18.8
最 小	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3	0.4	0.5	0.0	0.4	0.1	0.3	0.5	0.0	0.1 ~ 0.9
平 均	3.4	4.1	4.1	3.8	5.0	4.1	5.2	5.2	5.1	5.0	4.3	3.7	4.4	2.3 ~ 6.0

京都市（伏見I測定所）

単位：Bq/m³(ベクレル/立方メートル)

年 月	27/4	5	6	7	8	9	10	11	12	28/1	2	3	年間値	過去10年間の変動幅
最 大	10.3	11.6	11.0	12.2	12.1	9.8	14.4	15.3	13.9	16.2	13.4	14.8	16.2	8.7 ~ 16.8
最 小	0.5	0.6	0.4	0.1	0.0	0.6	0.6	0.5	0.6	0.6	1.2	0.7	0.0	0.0 ~ 1.3
平 均	2.6	3.5	2.8	3.3	3.5	3.3	5.0	4.8	5.2	4.8	4.3	3.9	3.9	2.2 ~ 5.6

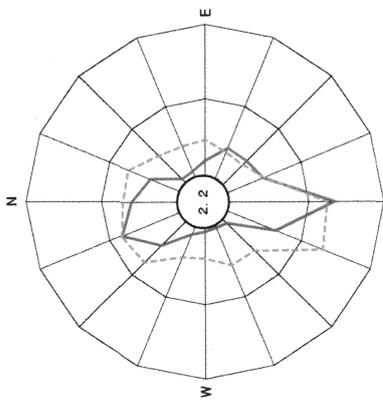
表2-7 平成27年度ガス状ヨウ素測定結果

試 料 名	採 取 地 点	採 取 年 月 日	単 位	測 定 値
ガス状ヨウ素 (活性炭ろ紙)	吉 坂 測 定 所	平成27年5月22日	$\mu\text{Bq}/\text{m}^3$	—
		平成27年9月16日		—
		平成27年12月18日		—
		平成28年 3月10日		—

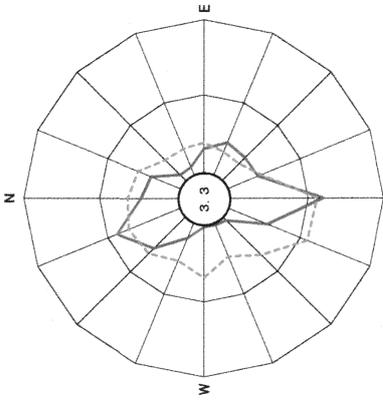
(注) 「—」は、検出限界以下であることを示す。

第1四半期
(H 27 4~6)

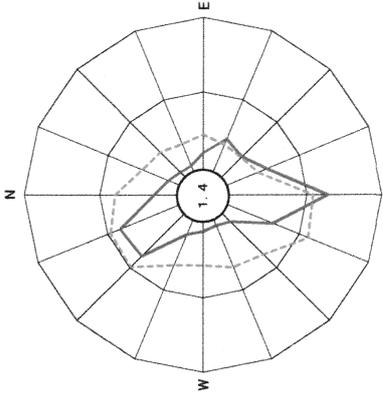
大山



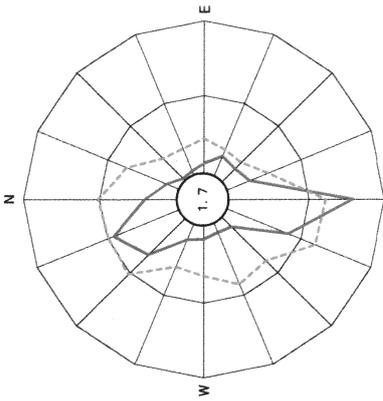
第2四半期
(7~9)



第3四半期
(10~12)

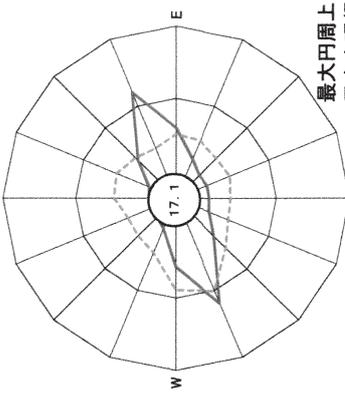
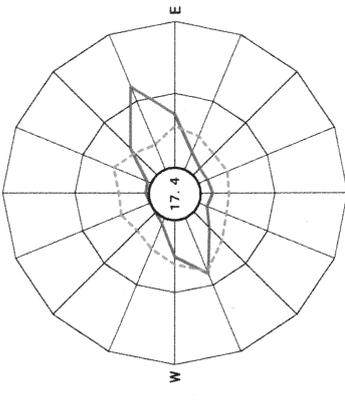
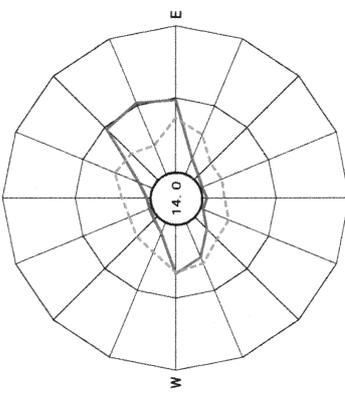
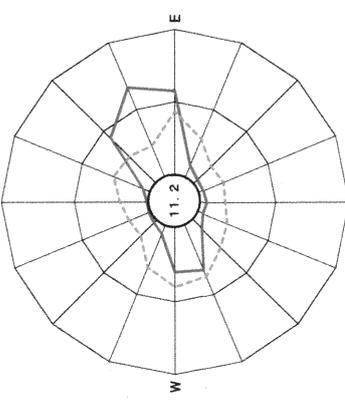


第4四半期
(H 28 1~3)

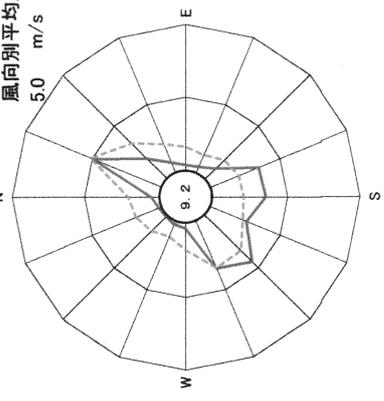
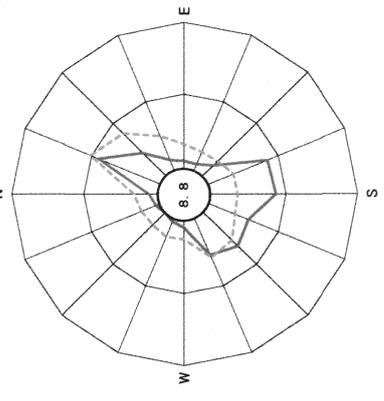
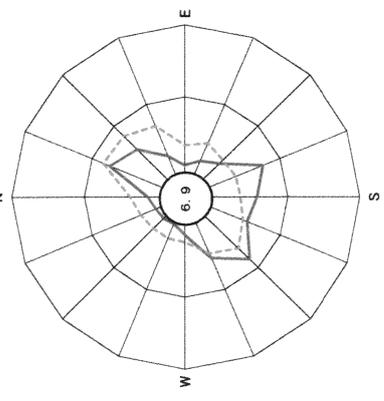
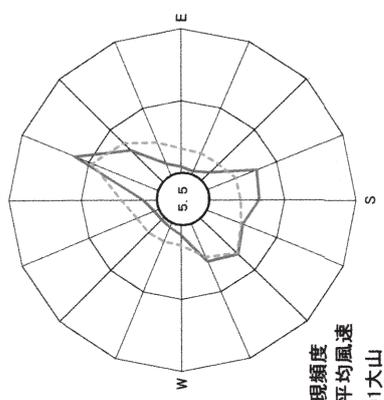


第1四半期
(H 27 4~6)

吉坂



倉梯



凡例
 — 風向出現頻度
 --- 風向別平均風速
 101大山
 102吉坂
 103倉梯

最大円周上
 風向出現頻度
 30.0 %
 風向別平均風速
 5.0 m/s

図2-4 平成27年度風配図

円内中央は、静穏時(風速0.3m/s未満)の頻度